

みどりの風

看護師川柳

二人して 聞こえぬ体温計 ひたすらに待つ（大高亜矢子）

N0.63

発行・編集責任（緑風会会長 大矢正明）

注意！！マイナ保険証には「福祉医療費受給者証」と「特定疾病療養受領証」は入らずー 失くさないでください！！ 従来の保険証の復活を

政府の決定により昨年12月2日から健康保険証が廃止され新規発行、再交付ができなくなっています。今後は現行の保険証は本年12月1日まで（有効期限のある場合は有効期限まで）利用できますが、再交付はできません。

最近ある病院の受付で分かったことですが、私たち透析患者にとって絶対必要な「福祉医療費受給者証」と「特定疾病療養受療証」がマイナ保険証には入っていないことを知りました。この二つの保険証は、医療費・薬剤費が無料になる私たち障害者にとって大変重要な保険証です。マイナ保険証があるからこれらの保険証は不要だとして失くさないようにしましょう。こんなことになるならマイナ保険証との併用を前提に、従来の保険証を復活させてほしいものです。（大矢）

約50人の患者・家族で可茂フロック透析患者交流会 ～ 経験交流ができて良かったの声 ～

可児市、美濃加茂市、加茂郡の透析病院である新可児クリニック、東可児病院、中部国際医療センター、太田メディカルクリニック、白川病院で透析を受けている患者及びその家族の約50人が3月2日に集い可児市文化創造センターアールで交流会を開いた。各病院から透析患者5人がそれぞれ自分の透析体験を語り、それを受けて病院スタッフである松井亜紀（新可児看護師長）、長谷川裕起（東可児管理栄養士）、小原恵美（東可児看護師）、板津直弘（太田メディカル透



析センター長）様がそれぞれ「病院から患者を見て」「水分管理について」「透析医療の過去と今」などのテーマについて助言があった。その後の質疑応答では、進行係の田坂一女（新可児患者）さんの元気で軽妙な語り口で和やかな雰囲気の中に会を閉じた。参加者からは透析経験者からの経験、苦労話がたくさん聞けて参考になったという感想がありました。